

JUKI

COMPUTER SEWING MACHINE
jupre

ジュプレ
HZL-009S

取扱説明書



! 注意

安全にご使用していただくため、
ご使用前に必ずこの取扱説明書
をお読みください。また、いつも
ご覧になれますように保管してください。

お買い上げまことにありがとうございます。

このコンピューターの特徴をご理解していただき、正しく安全にご使用していただくために
どうぞこの「取扱説明書」をよくご覧ください。

安全にご使用していただくために

このミシンを正しく安全にご使用していただくために、下記のことがらを必ずお守りください。

このミシンは日本国内向け、家庭用です。

FOR USE IN JAPAN ONLY

 この表示は
禁止マークです。

警告 このマークの表示は感電、火災の原因となりますから、特にご注意ください。

1. 一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。
2. 下記のようなときは電源スイッチを切り、室内コンセントから電源プラグを抜いてください。
 - ミシンのそばを離れるとき。
 - ミシンをご使用になったあと。
 - ミシンのご使用中に停電したとき。

注意 このマークの表示は感電、火災、けがの原因となりますから、特にご注意ください。

1. コントローラーの上に物をのせないでください。
(コントローラーは別売品です)
2. お客様ご自身での分解、改造はしないでください。
3. ミシンを操作するときはかま部などカバー類を閉じてください。
4. ミシンの縫製中は針から目を離さないようにし、針、はずみ車(プーリー)、天びんなど、すべての動いている部分に手を近づけないでください。
5. 針折れの原因になるような曲がった針はご使用にならないでください。

6. 針折れの原因になりますので、縫製中に布を無理に引張ったり、押したりしないでください。
7. お子様がミシンをご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、特に安全にご注意ください。
8. 下記のことを行うときは、電源スイッチを切ってください。
 - 針、針板、押え、アタッチメントなどを交換するとき。
 - 下糸、上糸をセットするとき。
 - 刺しゅう枠の取り付け、取り外しのとき。
 - ランプを交換するとき。
(ランプが冷えてから行ってください)
 - 取扱説明書に記載のあるミシンのお手入れを行うとき。

(刺しゅうの模様選択時に、糸や針の交換のため電源を切りますと、すべてクリアされます。編集・ぬい中に電源を切りますと、復帰機能がはたらかまず。)

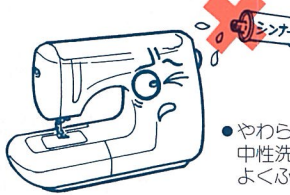
9. 落下しやすい場所でのミシンのご使用、保管はしないでください。
10. ミシンやコントローラーに下記の異常があるときは速やかに使用停止し、最寄りの販売店にて点検、修理、調整をお受けください。
 - 正常に作動しないとき。
 - 落下などにより破損したとき。
 - 水に濡れたとき。
 - 電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
 - 異常な臭い、音がするとき。

その他のご注意

直射日光が当たる場所、湿気が多い場所には置かないでください。



シンナーなどの溶剤でふかないでください。

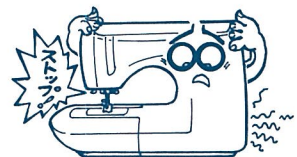
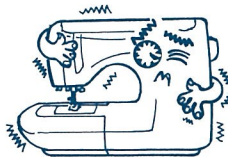


●やわらかい布に中性洗剤を少量つけて、よくふきとってください。

●5℃～40℃の範囲でお使いください。

●長時間のゆっくりぬいをつづけると異常発熱を防ぐため、ミシンがとまるようになっています。

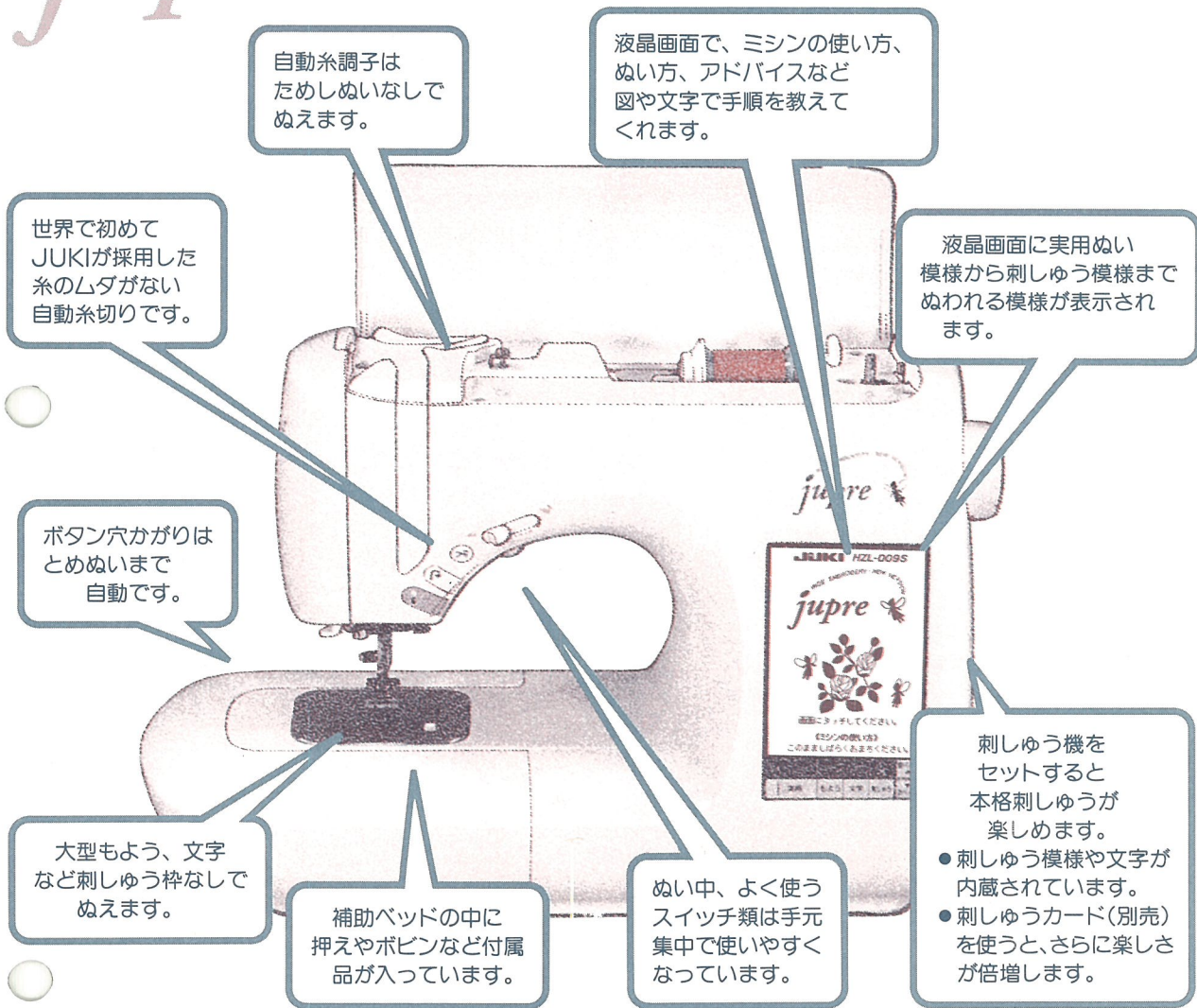
このミシンはマイクロコンピューター、半導体電子部品や精密な電子回路を内蔵していますので、右記の状態がおこる場合がありますからご注意ください。



●温度がいちじるしく低い場合、正常に動かないことがあります。

●約20分で安全装置が復帰して正常にご使用できます。

紹介 jupreのごしょうかい!



刺しゅうぬいには「組み合わせ刺しゅう」と「つなぎ刺しゅう」の編集機能がついています。

- ワイド刺しゅう模様をぬうことができます。
最大13×24cmの刺しゅうぬいができます。内蔵されている文字、模様のほか、刺しゅうカード(別売)を使って刺しゅうぬいの楽しさを広げることができます。
- 「組み合わせ刺しゅう」機能は文字と組み合わせたり、文字の大きさや向きを変えたりすることができます。
- 「つなぎ刺しゅう」は、刺しゅう枠におさまらない、組み合わせもようや、文字数の多いぬいを、数回に分けてぬっても、きれいつなげてぬうことができる機能です。
(一度に使える文字数は40個まで、ファイル「保存」できる機能は15ブロックあります。)
- 刺しゅうぬいのかかる時間や糸色を表示します。
刺しゅうぬいのかかる時間やぬっている途中の残り時間を表示します。
色替えの糸色の表示もします。

安全にご使用していただくために……………1

ミシンのご紹介……………2

各部の名まえ……………5,6

付属品……………6

基本操作

ページ

電源の入れ方……………7

操作スイッチの名まえとはたらき……………7

画面の明るさ、濃度の調整……………7

操作キーのはたらき……………8

下糸巻き/ボビンのセット……………9,10

上糸のかけ方……………11,12

針自動糸通し、下糸の引きあげ方

布地を入れてぬってみよう！……………13,14

自動糸切り、返しぬい（ほつれ止め）

押えを交換するには……………15

押えの種類と主な用途

ぬい目の長さを調節（手動）するには……………16

模様のぬい目の長さの自動と調節できる範囲

糸調子を調節（手動）するには……………17

針の交換……………18

布地に合った糸と針の選び方

ガイドキーの使い方……………19,20,21

実用ぬい

ページ

実用ぬい模様の選び方……………22

直線ぬい……………23,24,25

ぬい方向を変えるには、

ぬいしろの重なった部分のぬい方

厚地のぬい始め

糸切りみぞの使い方

自動止めぬい……………24

筒ぬい（フリーアーム）……………25

ジグザグぬい……………26

裁ち目かがり（縁かがり）……………27

しつけぬい……………28

フリー刺しゅう……………29

自動ボタン穴かがり……………29,30,31

両かん止め/ハトメ穴かがり

パールぬい（スーパーボタン穴かがり）

芯入りボタン穴かがり

伸縮強化ぬい……………31

かん止め……………32

ブラインドステッチ（まつりぬい）……………33

いせ込み、ギャザーの寄せ方……………34

ピンタック……………34

ファスナーつけ……………35,36,37

脇あきファスナーつけ

つき合わせのファスナーつけ

小物づくりのファスナーつけ

三点ジグザグ……………37

伏せぬい……………38

アップリケ……………38

キルティング……………39

横送り（四方ぬい）……………39

パッチワーク……………40

貝がらぬい（スカラップ）……………40

円ぬい（サークルステッチ）……………41

アイレット……………41

実用ぬいの別売(押え・コントローラー)のご紹介……………42,43,44

コントローラー、コンシール押え、
手動BH押え、三ツ巻き押え、ひもつけ押え、
上送りアタッチメント

大型もよう／モニタージュ／コマ送り／ワンポイント／連続もよう／文字 ページ

模様・文字の選び方……………45, 46
 画面表示のはたらき、操作キーのはたらき
 大型もようぬい……………47, 48
 画面の模様の出し方、ぬう模様を選ぶには
 拡大・縮小ぬい、反転ぬい、2色ぬい
 連続ぬい、パターンぬい
 モニタージュぬい……………49
 コマ送り……………49
 ワンポイントぬい……………50
 連続もようぬい……………50
 文字ぬい……………51
 模様と文字を組み合わせてぬうには……………52
 模様・文字ぬいのファイル（保存）・消去・
 よびだし方……………53, 54
 模様・文字の形の整え方……………55
 渡り糸の始末……………55
 実用ぬい／模様・文字ぬいの
 しんせつメッセージ……………56

刺しゅうぬい ページ

ぬう前の準備……………57, 58
 刺しゅう機取扱いの注意、
 刺しゅう押えの取り付け
 刺しゅう機の取り付け（刺しゅう機を取り外すには）
 文字・模様の選び方と種類……………59, 60
 ひらがな／カタカナの選び方
 アルファベットの選び方、模様の選び方

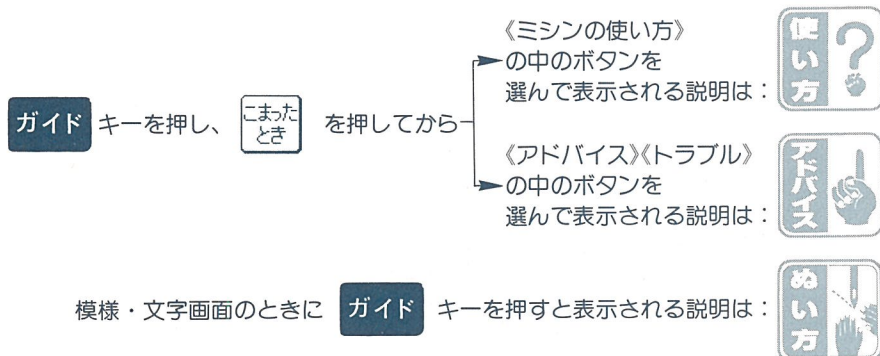
刺しゅう模様のぬい時間……………61
 ぬい方(1)……………62
 きれいに刺しゅうするために、
 刺しゅう枠に布地を張るには
 ぬい方(2)……………63, 64
 刺しゅう枠のセット、ぬい方
 刺しゅうぬいの一覧順序……………65, 66
 文字・模様のぬう位置を決めるには……………67, 68
 位置を移動させるには、位置を確認するには、
 文字・模様の回転／大きさ変更……………69
 文字間隔の変更／よこ書き・たて書き……………70
 組み合わせ刺しゅう……………71, 72
 つなぎ刺しゅう……………73～80
 ズーム（拡大）機能について……………81
 組み合わせた文字や模様を
 ファイル（保存）するには……………82～84
 ぬい途中で糸が切れたとき……………85, 86
 小さい布地や布端に刺しゅうをするには……………87
 もようの消去／ぬい中止……………87
 しんせつメッセージ一覧表……………88～90

その他 ページ

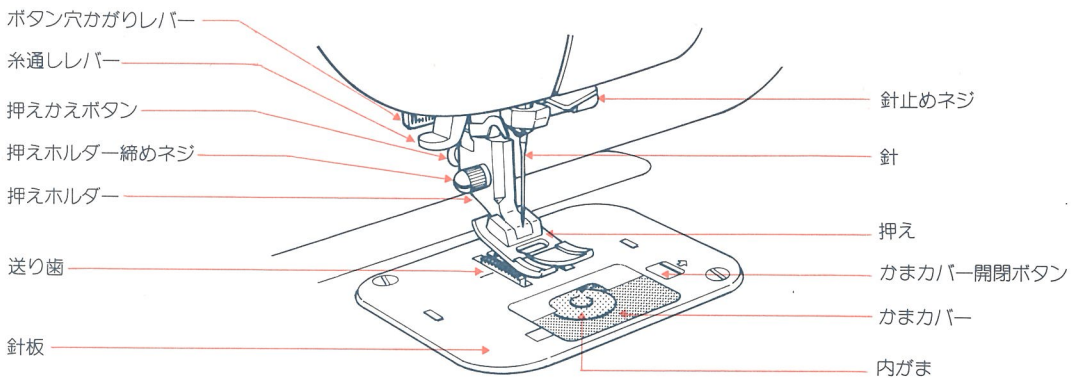
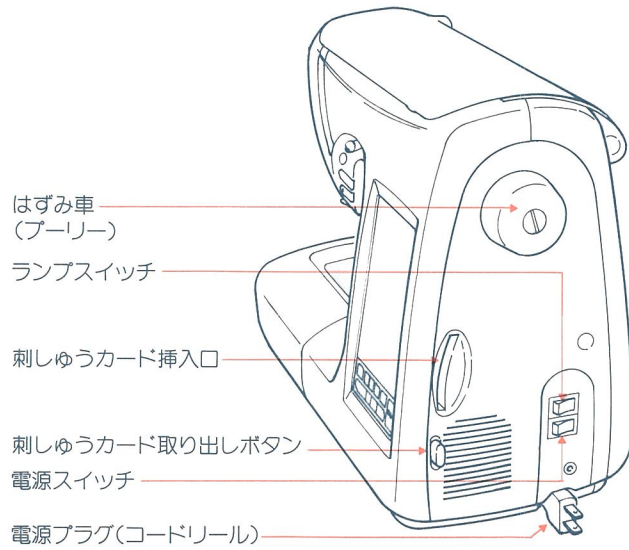
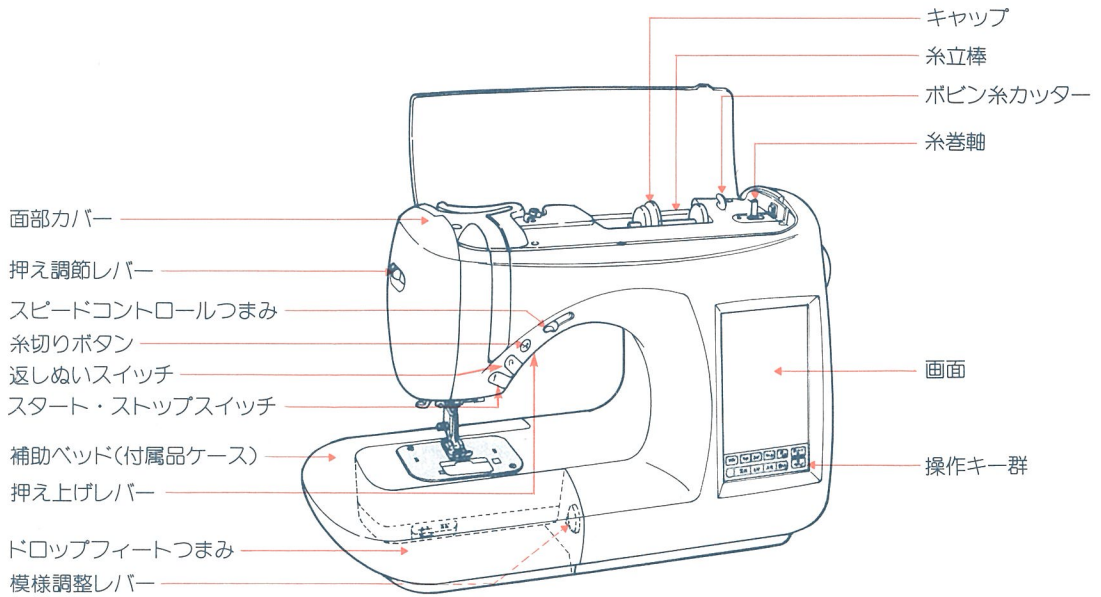
模様・文字一覧表……………91～93
ボタン キーの使い方……………94
 故障かな…というときは……………95, 96
 ランプの交換……………97
 ミシンの手入れ……………97
 仕様表・アフターサービスと保証……………裏表紙

このコンピューターミシンにはミシンの使い方、アドバイス、トラブル、ぬい方がわかりやすく液晶画面に図解と文章で表示されます。

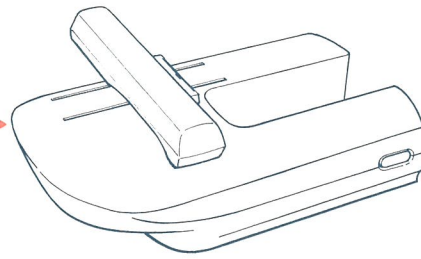
この取扱説明書の中で画面に表示される操作内容のものは下記のマークが付いています。ご参考にしてください。（画面操作方法は19, 20, 21ページを参照してください）



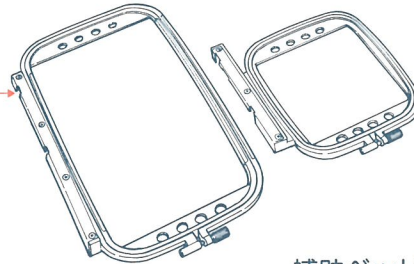
各部の名まえ



刺しゅう機



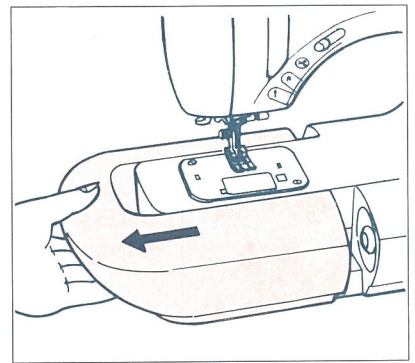
刺しゅう枠 大・中



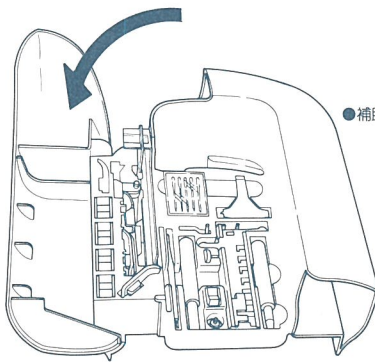
刺しゅう押え(J)



補助ベッドを左へ引き出します



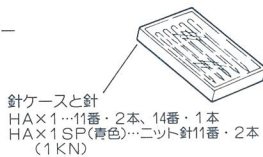
■付属品



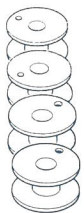
●補助ベッドの中にあります。



専用ドライバー



針ケースと針
HA×1…11番・2本、14番・1本
HA×1SP(青色)…ニット針11番・2本
(1KN)



ボビン(4)



掃除用ブラシ



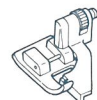
棒定規



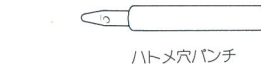
びょう 固定ねじ



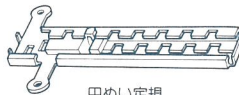
リッパー(糸ほどき)



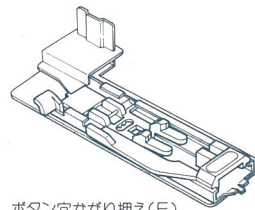
ブラインドステッチ押え(D)



ハトメ穴パンチ



円ぬい定規



ボタン穴カガリ押え(E)



ファスナー押え(B)

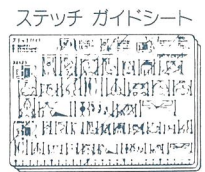


裁ち目カガリ押え(C)



模様押え(T)

カバーケース内の付属品



ステッチ ガイドシート



ハサミ

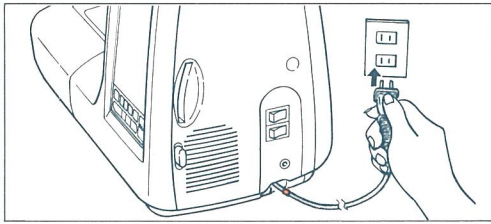


チャコペン(2色)

※付属品は補助ベッドの所定の位置にセットしてください。補助ベッドの出し入れができなくなることがあります。
※基本押え(A)は最初ミシン本体にとりつけられています。

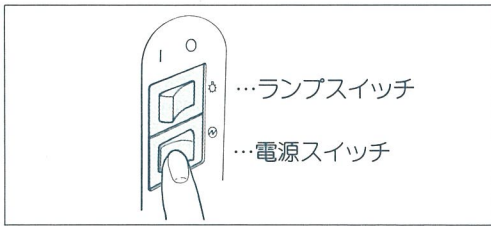
電源の入れ方 / 操作スイッチの名まえとはたらき

電源の入れ方



1) コードリールの電源コードを引き出して、室内コンセントへ差し込みます。

- ▲このミシンは一般家庭用交流電源100Vをご使用ください。
- ▲電源コードの赤印以上は引き出さないでください。



2) 電源スイッチ（I側）を押すと電源が入ります。

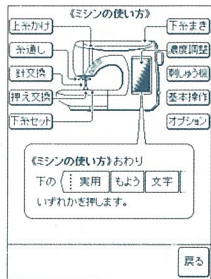
3) 電源を切るときは、電源スイッチ（O側）を押します。

- ※電源コードをしまうときは、少し(5センチ位)引いて手を離すと自動的に巻き込みます。

電源を入れた後の表示

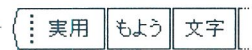


しばらく待つと……



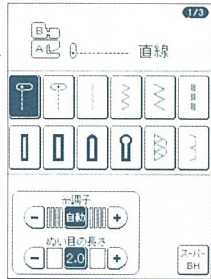
※このミシンの使い方を
見ることができます。

画面下の



のいずれかを
押すと、模様選択画面
が表示されます。

画面に
ふれると……



操作スイッチ

糸切りボタン

ボタンを押すと上糸、下糸が自動的に切られ、針は上位置で止まります。
※その後、下糸が針板上にみえなくても、続けてぬうことができます。

スタート・ストップスイッチ

スイッチを押すとスタートし、再度押すと針が下位置でストップします。スイッチの色がミシンの準備の状態変わります。

- 緑色：スタート可能と縫製中のとき。
- 赤色：スタート不可能のとき。
- 橙色：下糸巻き(糸巻軸が右側にある)のとき。

スピードコントロールつまみ

ぬい中でもスピード調節ができます。

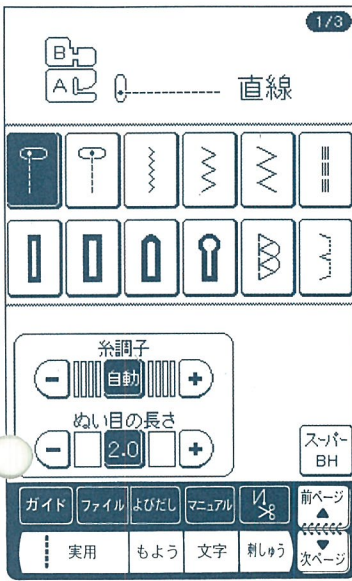
押え上げレバー

返しぬいスイッチ
スイッチを押している間だけ返しぬい(止めぬい)を低速でぬいます。

画面の調整 / 操作キーのはたらき

操作キー

液晶画面の上に表示される模様がぬえる模様です。



ガイド このキーを押すと、「ぬい方」が液晶画面に出てきます。

実用 は洋裁に良く使う機能が出てきます。
※液晶画面に指で触れても、実用ぬい模様が出てきます。

もよう は大型もよう、モンタージュ、コマ送り、ワンポイント、連続もようを選ぶのに使います。

文字 はひらがな、カタカナ、アルファベット（大文字、小文字、筆記体）、数字などを選ぶのに使います。

刺しゅう は刺しゅう機をセットして使います。（注：刺しゅう機をセットしないと刺しゅう用の液晶画面が出てきません）。

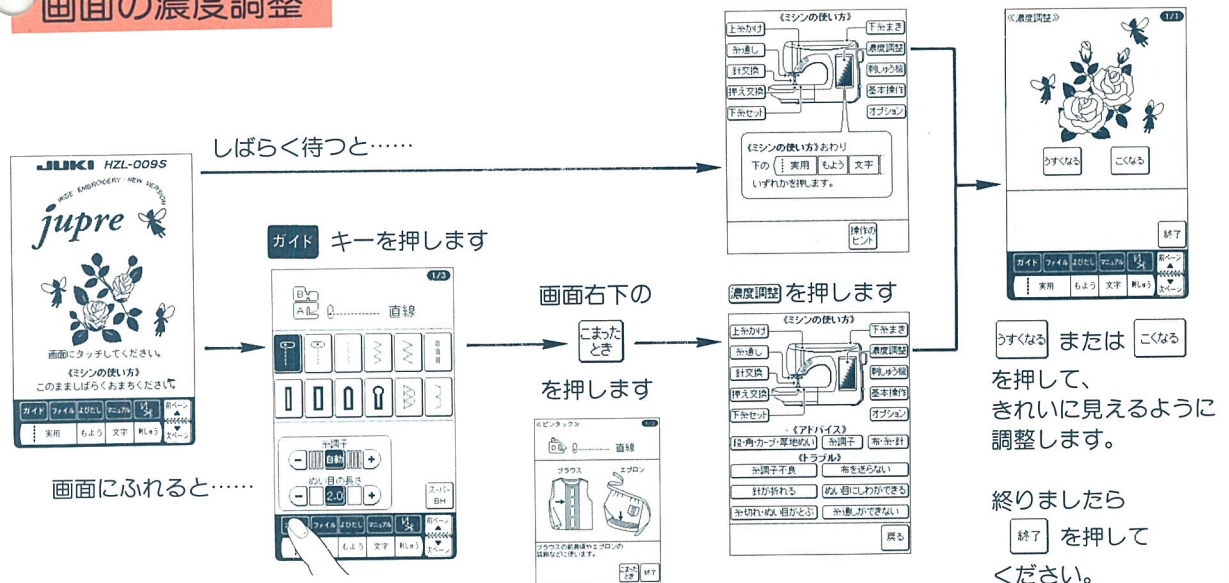
前ページ 液晶画面で次の画面を見たいときは次ページキーを押します。
次ページ 前ページに戻りたいときは前ページキーを押します。

糸調子 は直線ぬいやジグザグぬいなど、自動的にぬい始めとぬい終わりに返しぬいをしたいときに押します。そしてぬい終ると上、下の糸切りをしてくれます。
糸調子 キーを押すと、左上の方に **糸調子** 表示がでます。

マニュアル は糸調子やぬい目の長さを変えるときに使います。

ファイル **よびだし** ファイルは文字やもようを記憶させ、ミシンの中にファイル（保存）させるために使います。よびだしはファイルした文字やもようを呼び出すために使います。

画面の濃度調整



下糸巻き／ボビンのセット

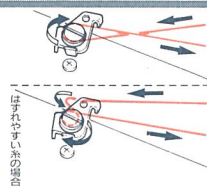


番号順におこなってください。

液晶画面に説明があります。

3

糸案内に
かけます。



●化繊糸など糸がはずれやすいときには、
下糸巻案内の穴に通してからかけます。

2

糸ゴマを入れ
キャップを
さし込みます

5

スピードを
調節します。



6

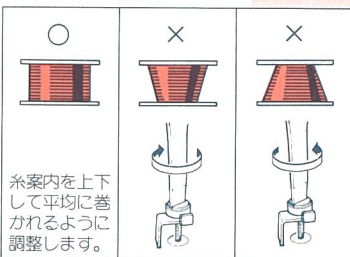
スタートボタンを
押します。

●途中でとめたいときと、巻き終わったら
もう一度ボタンを押します。

7

ボビンを
とり出し
セットします。

●下糸巻き調整

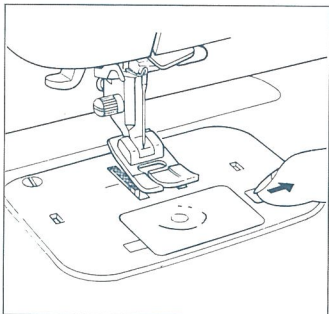


ボビンの取り出し方

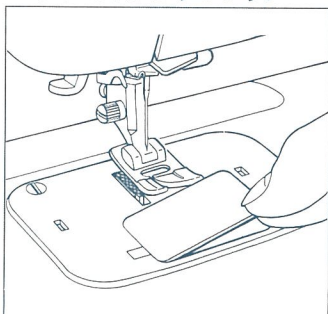
※このミシンのボビンはJUKI専用部品です。

⚠ 注意 ボビンを出し入れするときは電源スイッチを切ってください。

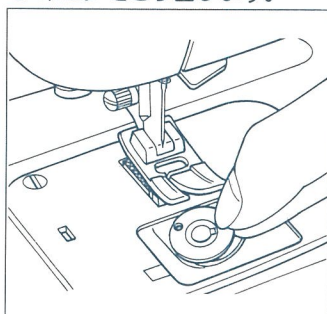
1 ボタンを右側へ引きます。

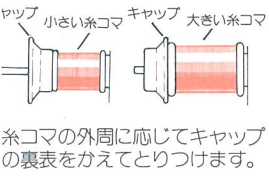
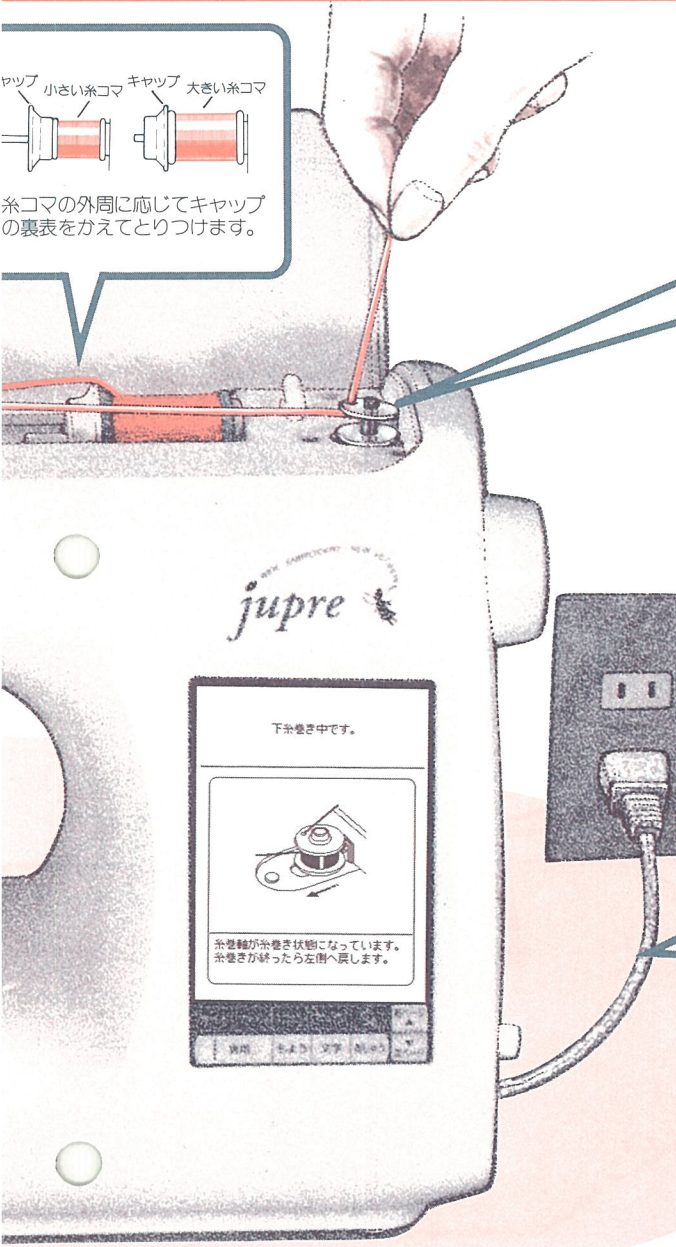


2 フタを取りはずします。



3 ボビンをとり出します。



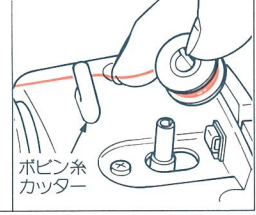
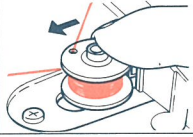


4 ボビンをセットします。



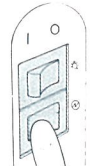
巻き終わったら

左側へもどします。



予備のボビンは補助ベッドの中に入っています。

1 コードを引き出しコンセントへさしこみ電源を入れます。



ランプスイッチ

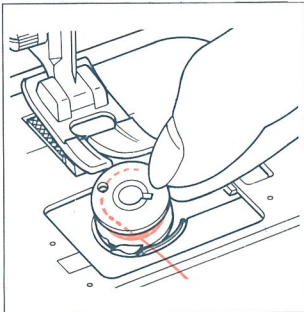
電源スイッチ

I は入 (ON)
O は切 (OFF)

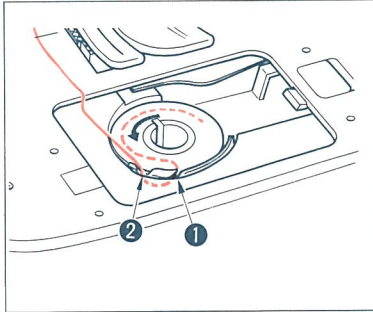
8 ボビン (下糸) のセット

注意 刺しゅう機がセットされているとき以外は、下糸をセットするときは電源スイッチを切ってください。

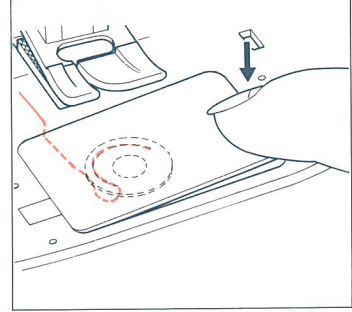
1 内かまに入れます。



2 内かまに糸をかけます。



3 かまカバーを閉じます。



ボビンの糸の巻き方向を左巻きに / ①に糸をかけ②のミソの上のせて、後ろへもって行きます。

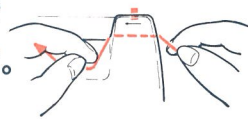
上糸のかけ方



液晶画面に説明があります。

4 4、5、6、7は糸の先端をもち、矢印にそってかけます。

3 両手で奥まで押し込みます。
ベーステンション (糸検知糸案内)

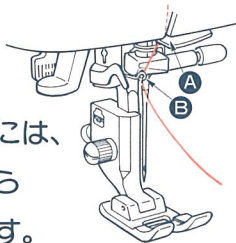


5

7

6

8 AとBには、左側からかけます。



1 押え上げレバーをあげます。

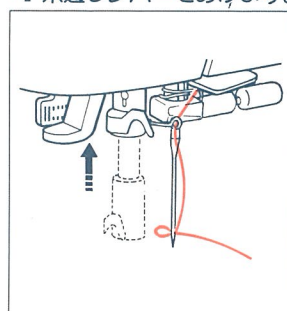
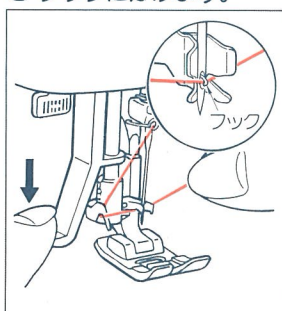
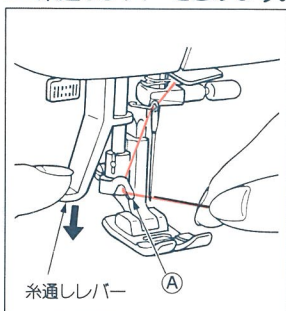
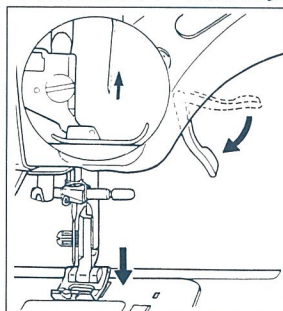
9 針自動糸通し

1 押え上げレバーをさげます。

2 糸通しレバーをさげます。

3 フックにかけます。

4 糸通しレバーをあげます。



*針は一番上にあげます。

糸通しレバーを途中 (重くなる直前) までさげてAに糸をかけます。

さらに糸通しレバーをさげてフックに糸をかけます。

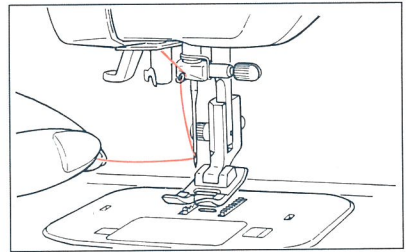
指をはなすとフックが糸をひっかけて針穴に通します。

2 はずみ車を手前にまわし、針を最上位置にします。

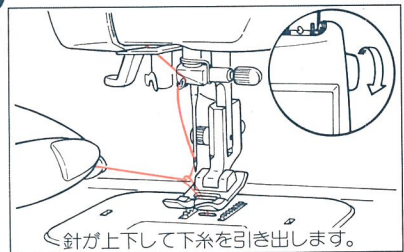
下糸の引きあげ方

まず押え上げレバーをあげてから

1 上糸を軽くもちます。

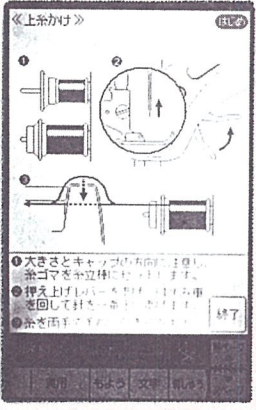
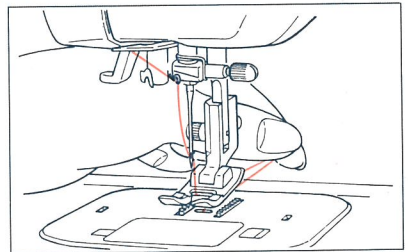


2 はずみ車を手前にまわします。

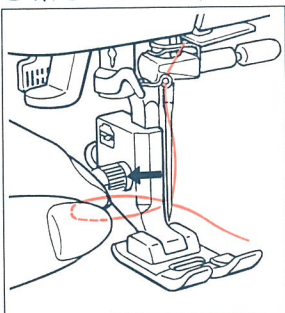


針が上下して下糸を引き出します。

3 上・下糸をそろえて10センチ以上後ろへ出します。



5 糸をひき出します。



通した糸を針穴から10センチくらい引き出します。

ご注意

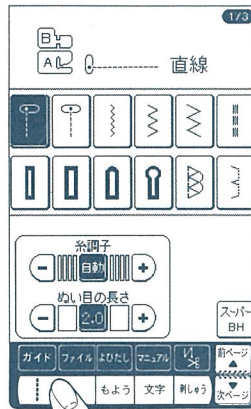
1. ミシンが動いているときは糸通しレバーをさげないでください。
2. 針自動糸通しは11番、14番、16番の針に使用できます。



布地を入れてぬってみよう!



実用 キーを押すと
直線ぬい(左基線)が表示され、
ぬうことができます。



6 スピードを
調節します。
おそくなる ← はよくなる →

5 スタートさせます。

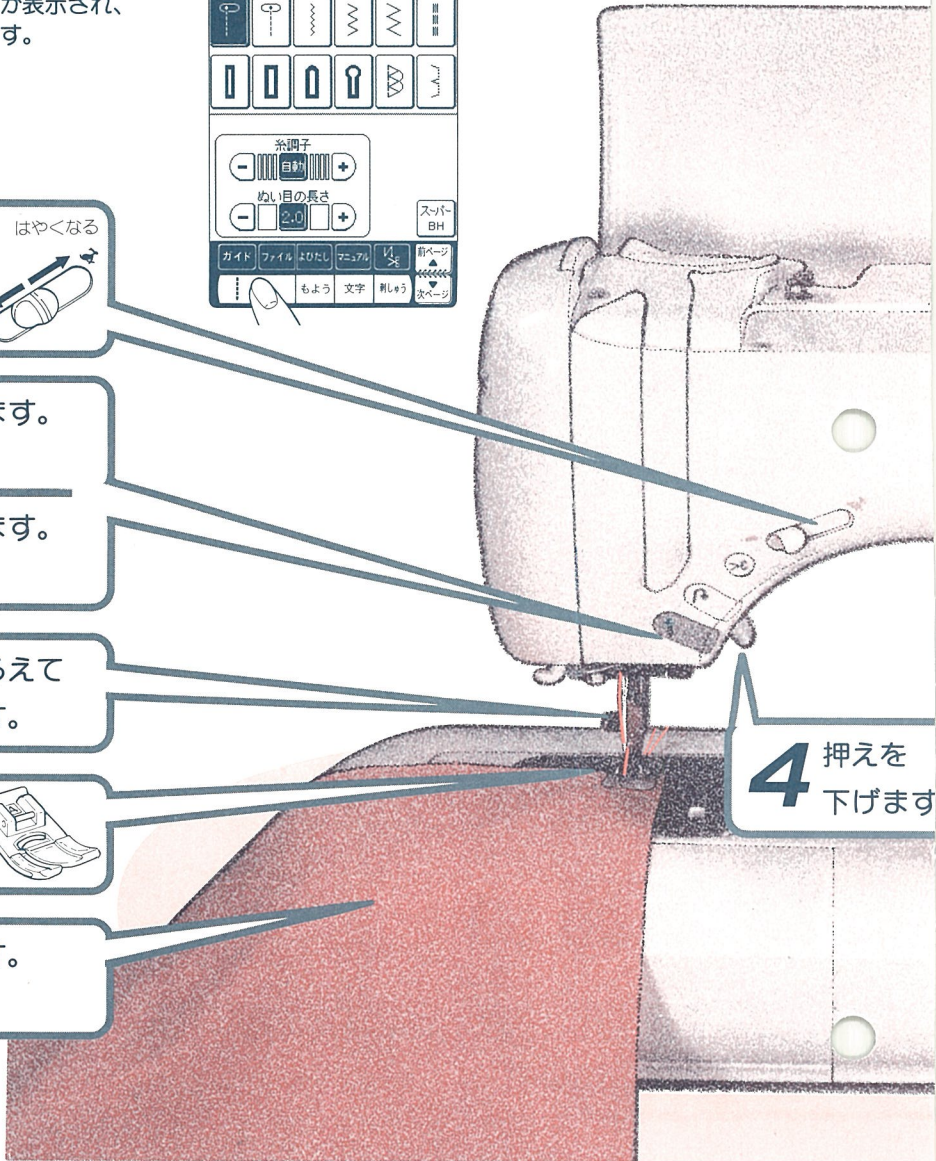
7 ストップさせます。

3 上・下糸をそろえて
後ろに出します。

1 押えを 基本押え (A)
確かめます。

2 布地を入れます。

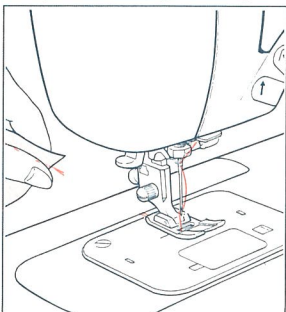
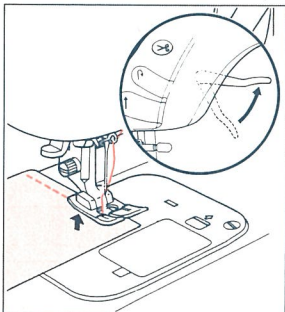
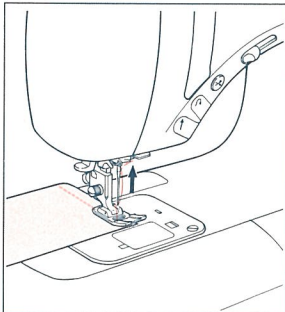
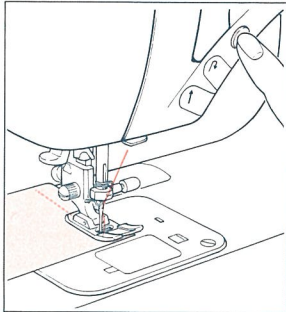
4 押えを
下げます



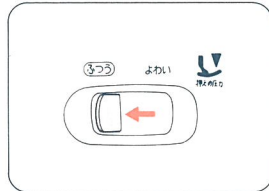
8 自動糸切り

ぬい終わったら……

1 糸切りボタンを押します。 **2** 針が動いて上で止まります。 **3** 押え上げレバーを上げます。 **4** 上・下糸が切られて、あとは布地をとり出すだけです。



押え圧の調節レバー

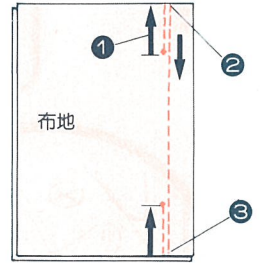


通常は「ふつう」でぬえます。布地の種類や厚さで調節します。

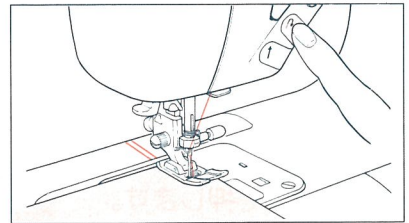
※このレバーは、左側の面部にあります。

返しぬい(ほつれ止め)

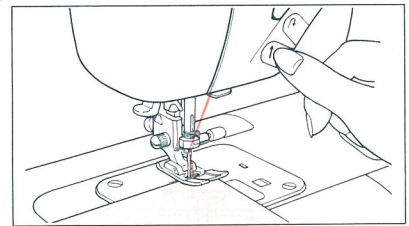
ぬい始めと、ぬい終りに返しぬいをするとぬい目がほつれません。



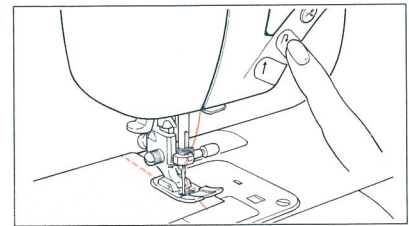
1 返しぬいスイッチを押します。



2 スタート・スイッチを押します。



3 返しぬいスイッチを押します。



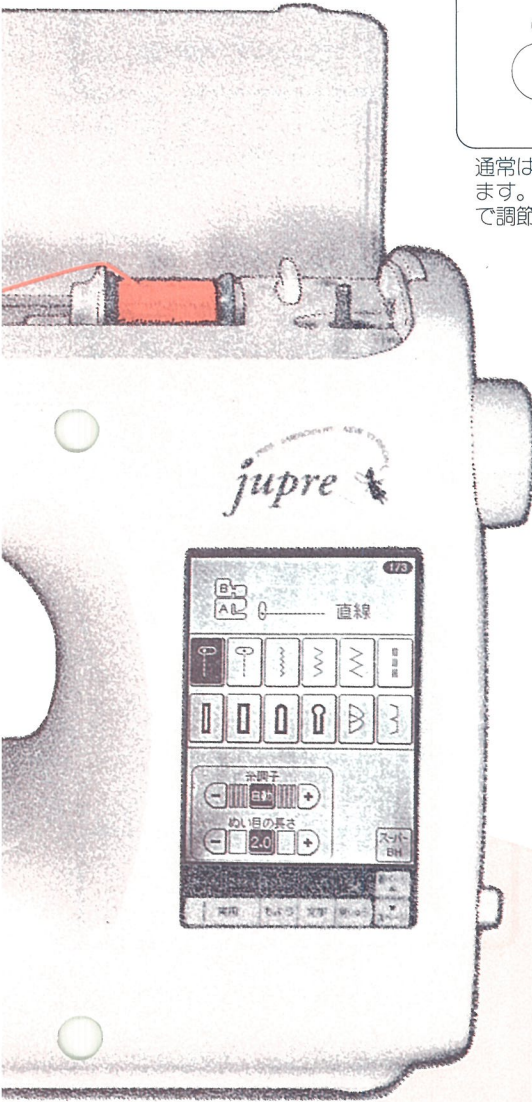
- * 返しぬいスイッチは押している間だけ返しぬいができます。
- * 返しぬいは、ゆっくりな速度になっています。
- * ジグザグなどの模様ぬいのときは、止めぬいになります。

自動止めぬいについて



キーを押すと、ぬい始め

スタートさせると3針の返しぬい(止めぬい)をしてから、ぬい進みます。所定の位置まできましたら、返しぬいスイッチを押すと3針の返しぬい(止めぬい)をして、さらに糸切りをして止まります。(24ページ参照)



自動糸切りしたあと、下糸が見えなくてもそのまま次にぬえま〜す!



これは便利! 糸のムダがないね

30番以下の太い糸や特殊な糸は押え棒の裏側にある糸切りみぞやハサミを使って糸を切ってください。(25ページ参照)

押えを交換するには…

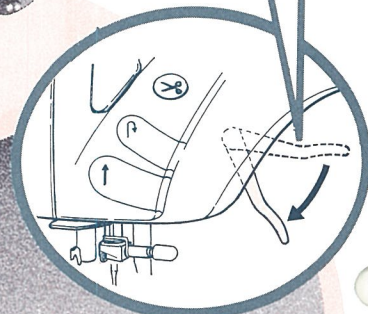
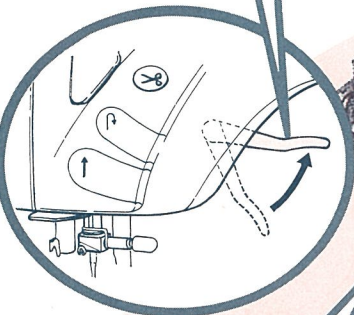


液晶画面に説明があります。

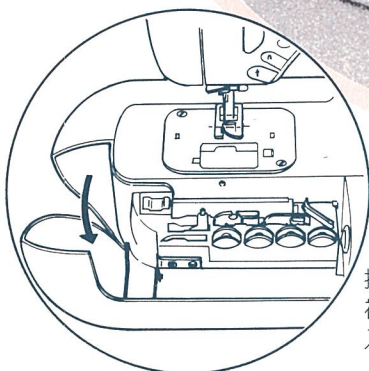
注意 押え交換のときは電源スイッチを切ってください。

1 押え上げレバーをあげます。

4 押え上げレバーを下げると押えはセットできます。



2 ボタンを押します。
押えははずれます。



押えは補助ベッドの中に入っています。

3 交換する押えのピンと刻線を合わせます。

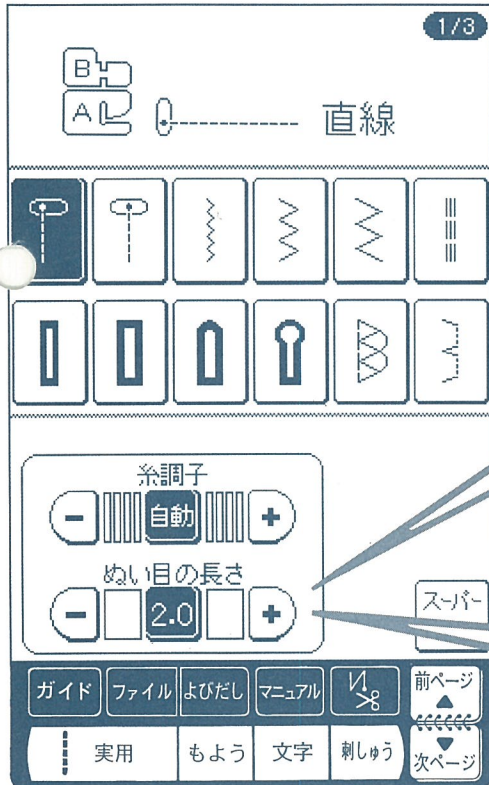
押えの種類と主な用途 模様と用途にあつた「押え」を使いましょう！

押え	基本押え				模様押え	ファスナー押え	裁ち目かがり押え	ブラインドステッチ押え	ボタン穴かがり押え		
記号	A				T	B	C	D	E		
模様				(小) (中) (大)	 ワンポイント 		振り幅(大) 		 		
主な用途	直線ぬい	ピントックなど キルティング	伸縮強化ぬい	キルティングなど アップリケ ジグザグぬい	(全ラスタックステッチ 三点ジグザグぬい 裁ち目かがり)	模様ぬい パッチワーク など	模様ぬい	ファスナーつけ	裁ち目かがり (オーバーロック)	ブラインドステッチ (まつりぬい)	自動ボタン 穴かがり

ぬい目の長さを手動にするには…

模様を選ぶと自動的に適正なぬい目がセットされていますが…

実用 実用キーを押すと、この画面が出てきます。糸調子とぬい目の長が表示されていない画面は **マニュアル** キーを押すと、この部分が表示されます。



自動の場合

直線ぬいの例



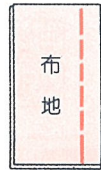
手動の場合

+ を押すと数字が大きくなります。
- を押すと数字は小さくなります。

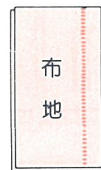
数字が大きくなると…ぬい目が長くなります。



4.0の上を指で触れると自動の2.0に戻ります。



数字が小さくなると…ぬい目が短くなります。



- *ぬい目の長さの表示される数字は 0.0/0.2~1.0/1.5/2.0/2.3/2.5/3.0 3.5/4.0 です。
- * -- の表示される模様はボタンを押しても表示は変わりません。

各模様のぬい目の長さの自動と調節できる範囲

模様																	
自動	2.0	1.0	1.5	2.0	0.5	0.6	2.0	1.0	--	--	--	--	--	1.0	--	--	
手動の範囲	0.0~4.0				0.0~1.0				0.0~4.0		--		0.0~2.0		--		
模様																	
自動	2.0	0.5	--	--	--	--	--	0.4	--	--	--	--	--	--	--	--	--
手動の範囲	0.0~4.0	0.0~1.0	--	--	--	--	--	0.0~4.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--

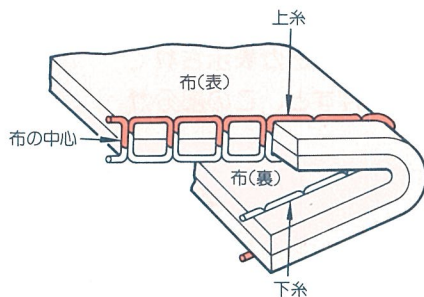
糸調子を手動にするには…



液晶画面に説明があります。

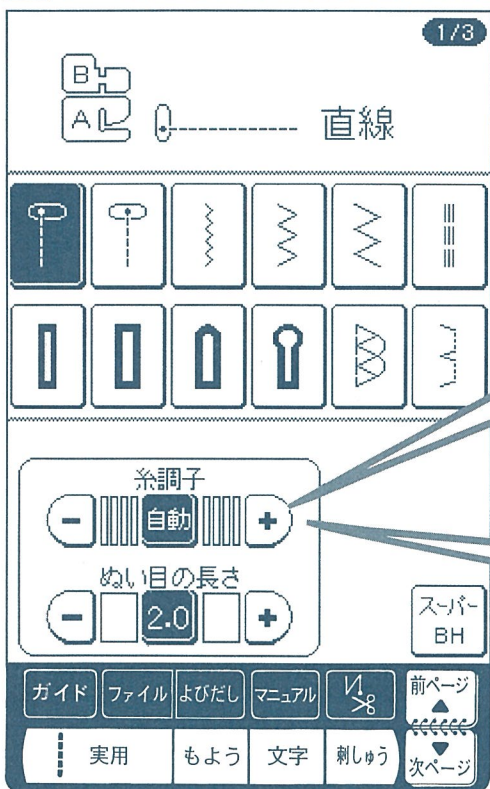
このミシンはコンピューターにより通常のぬいには最適な自動糸調子になっています。特殊なぬいで糸調子を変えるには…

通常のよい糸調子は
上糸と下糸のからんでいる
ところが布の中心です。



糸調子とぬい目の長さが表示されていない画面は

マニュアル キーを押すと、この部分が表示されます。



上糸調子を強くしたいとき
+ を押します 4段階に強くなります。

糸調子

1 **-** 自動 **+**

2 **-** 自動 **+**

3 **-** 自動 **+**

4 **-** 自動 **+**

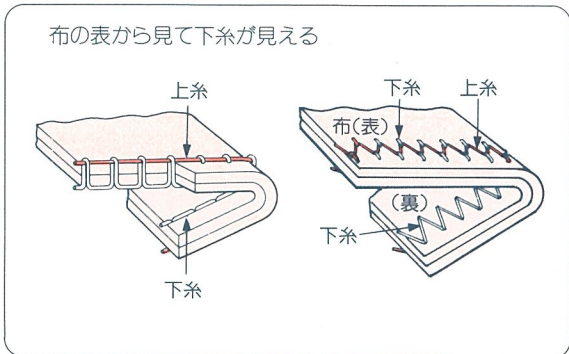
上糸調子を弱くしたいとき
- を押します

自動 **+**

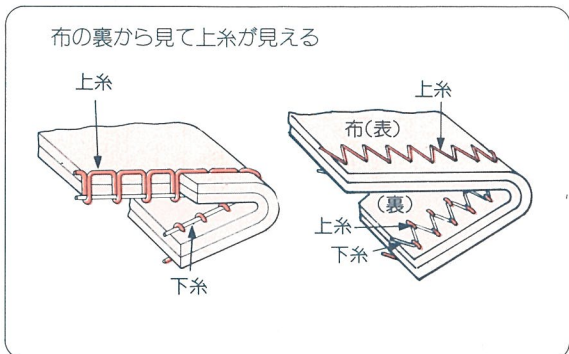
4段階に弱くなります。

※変更した糸調子を一度に自動に戻すには
自動 の上を押してください。

●糸調子を強くしたとき…



●糸調子を弱くしたとき…



針の交換

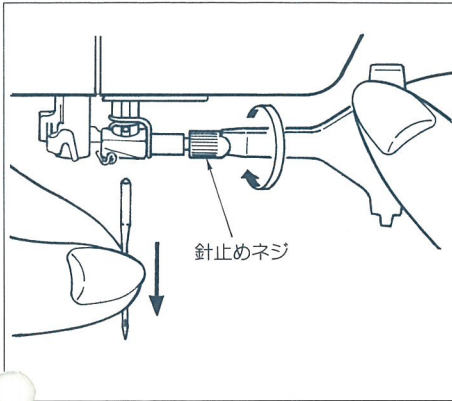


液晶画面に説明があります。



押え交換のときは電源スイッチを切ってください。

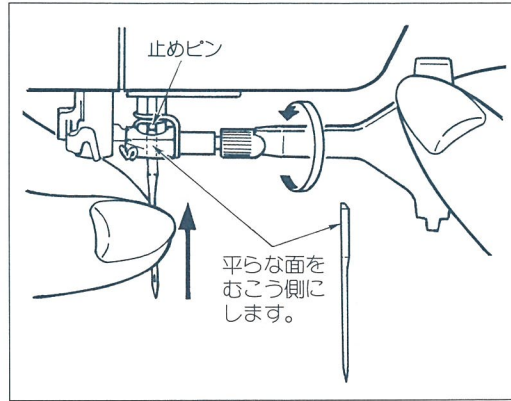
1 針のはずし方



- ①針を最上部にあげます。
- ②針止めネジをゆるめます。

2 針のとりつけ方

(針が正しい向きでないと、とりつきません)

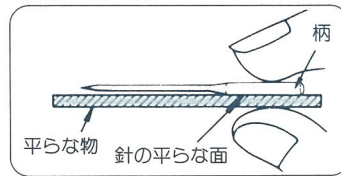


針の平らな面をむこうにして止めピンに突きあてます。
針止めのネジをがたくしめます。

● 針の選び方

針をお買い求めの際は
家庭用ミシン針のHA×1、または
HA×1SP(ニット針)を指定します。

● 針の調べ方



すき間が針先まで平均に見えるのが
良い針です。針先が曲がったり、つ
ぶされているものは使わないように
します。



液晶画面に説明があります。

● 布地に合った糸と針の選び方

	布 地	ミシン糸	ミシン針
薄地ぬい 	ローン	絹ミシン糸 80番~100番	9番
	ジョーゼット	化繊・細ミシン糸 90番・100番	11番
	トリコット	化繊ミシン糸 60番~100番	ニット針11番
	ウール・化繊布	絹ミシン糸 80番 化繊ミシン糸 60番~100番	11~14番
普通地ぬい 	普通木綿・化繊布	綿 糸 50番~80番 化繊ミシン糸 50・60番	11~14番
	薄手ジャージー	絹ミシン糸 50番 化繊ミシン糸 50・60番	ニット針11番
	一般ウール・化繊布	絹ミシン糸 50番 化繊ミシン糸 50・60番	11番~14番
厚地ぬい 	デニム	綿 糸 30~50番 化繊ミシン糸 30~50番	14番~16番
	ジャージー	絹ミシン糸 50番 化繊ミシン糸 50・60番	ニット針11番~14番
	コート	絹ミシン糸 50番	11~14番

※ニット針 (HA×1SP (1KN)) は目とびを 방지、伸縮性の布地に適します。

ガイド キーの使い方

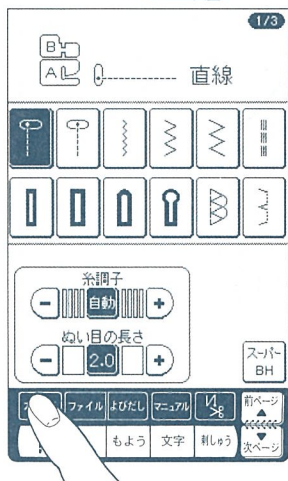
このコンピューターミシンには、ぬい方、ミシンの使い方、アドバイス、トラブルがわかりやすく液晶画面に表示されます。

ぬい方

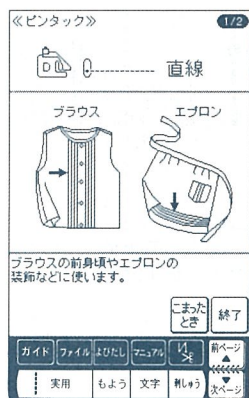
画面で選んだ模様の、ぬい方の説明が表示されます。

例：直線ぬいの左基線が選ばれているとき……

①画面下の **ガイド** キーを押します。



すると……



説明画面が表示されます。

② **次ページ** キーを押していくと、次の説明画面が表示されます。

* **前ページ** キーを押すと、前の画面が表示されます。

* 終了、または途中でやめたいときは **終了** を押してください。元の画面に戻ります。

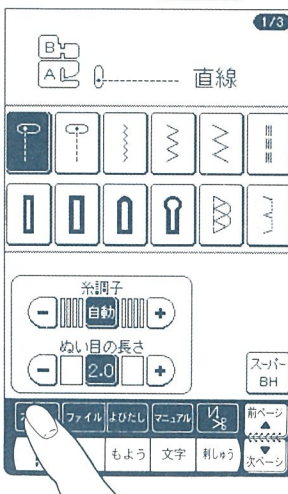
●ぬい方説明表示の画面枚数

左 基 線	ピンタック	2画面	ジグザグ小	4画面	まつりぬい(2種)	各5画面	
	脇あきファスナーつけ	7画面	ジ ザ グ 中	たち目かがり	1画面	伸縮地用直線ぬい	1画面
	つき合わせファスナーつけ	7画面	ア ッ プ リ ケ	アップリケ	4画面	3点ジグザグ	1画面
	小物づくりのファスナーつけ	4画面	ジ グ ザ グ 大	ジグザグ大	1画面	かん止め	5画面
	ギャザー	3画面	伸 縮 強 化 ぬ い	伸縮強化ぬい	1画面	アップリケ	4画面
	いせ込み	3画面	ポ タ ン 穴 か が り (5種)	ボタン穴かがり(5種)	各9画面	パッチワーク	3画面
中基線	1画面	た ち 目 か が り (3種)	たち目かがり(3種)	各1画面	しつけぬい	1画面	
					横送り	1画面	

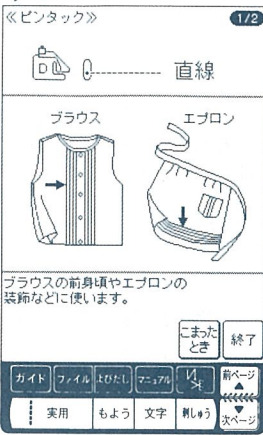
ミシンの使い方

例：下糸巻きの方法を知りたいときは……

1 画面下の **ガイド** キーを押します。



すると……

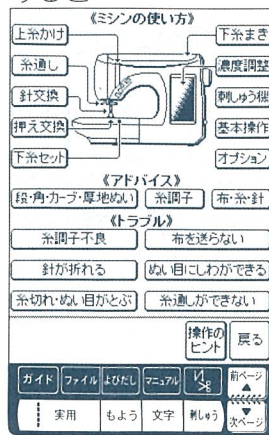


この画面が表示されます。

2 画面上の **こままとどき** を押します。

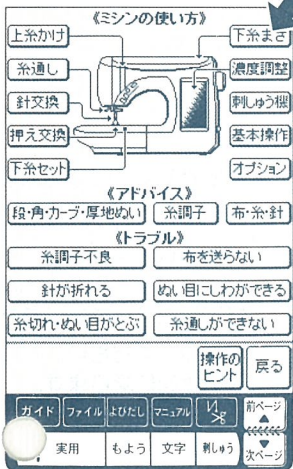


すると……

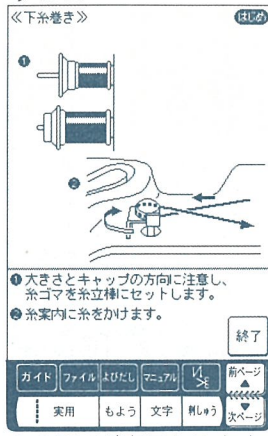


この画面が表示されます。

3 《ミシンの使い方》の「下糸まき」を押します。

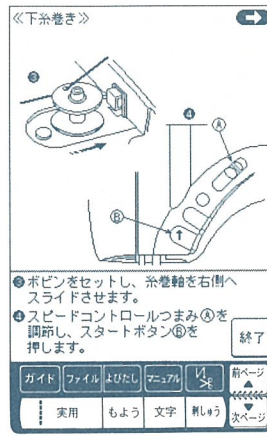


すると……

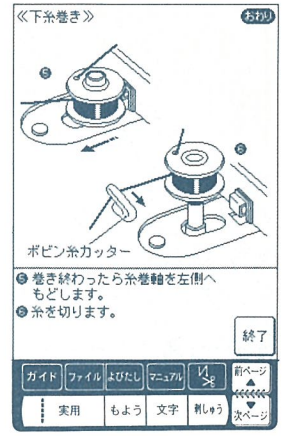


この画面が表示されます。

4 次の画面を出すには画面下の「次」キーを押します。



「前ページ」キーを押す。



* 「前」キーを押すと、前の画面が表示されます。

* 「終了」を押すと3の模様選択画面に戻ります。

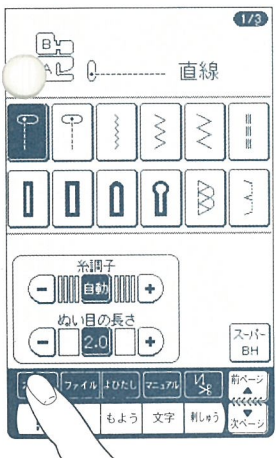
●ミシンの使い方説明表示の画面枚数

上糸かけ	3画面	押え交換	3画面	濃度調整	1画面	オプション	2画面
糸通し	2画面	下糸セット	2画面	刺しゅう機	6画面		
針交換	2画面	下糸まき	3画面	基本操作	5画面		

アドバイス

例：段ぬいの方法を知りたいときは……

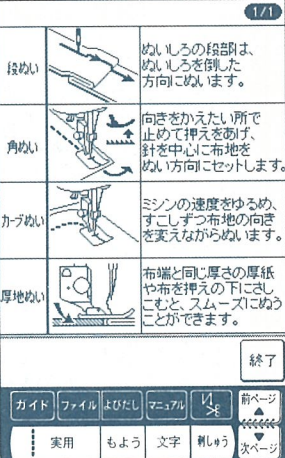
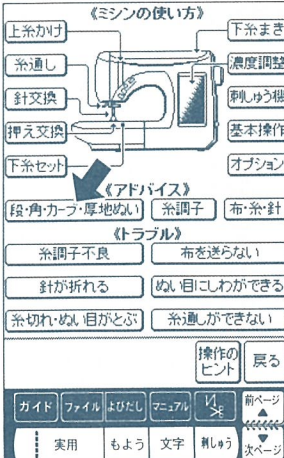
1 画面下の「ガイド」キーを押します。



2 画面上の「こまったとき」を押します。



3 《アドバイスの》「段・角・カーブ・厚地ぬい」を押します。



* 説明画面がいくつもある場合は「次ページ」キーを押して確認してください。

* 終了したいときは、「終了」を押してください。元の画面に戻ります。

●アドバイスの説明表示の画面枚数

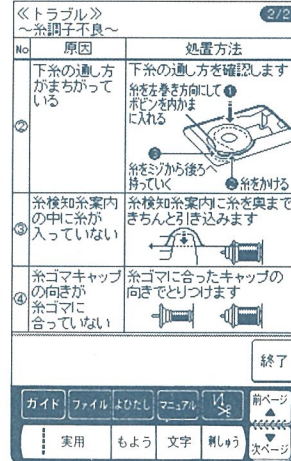
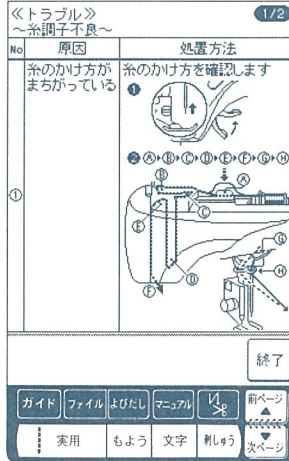
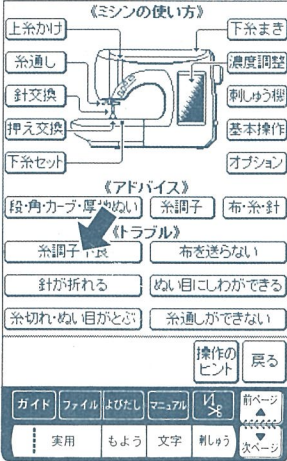
段・角・カーブ・厚地ぬい	1画面	糸調子	3画面	布・糸・針	1画面
--------------	-----	-----	-----	-------	-----

トラブル

例：糸調子不良のとき……

1 《トラブル》の

糸調子不良 を押します。



* 説明画面がいくつもある場合は、**次ページ** キーを押して確認してください。

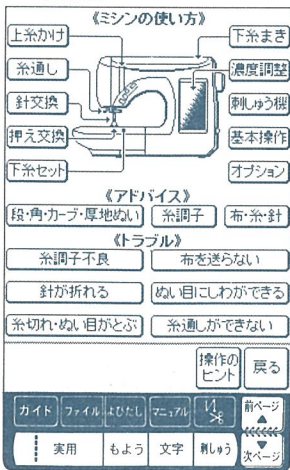
* 終了したいときは、**終了** を押してください。元の画面に戻ります。

●トラブル説明表示の画面枚数

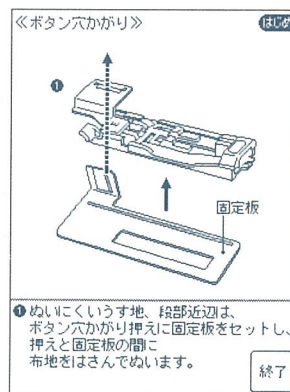
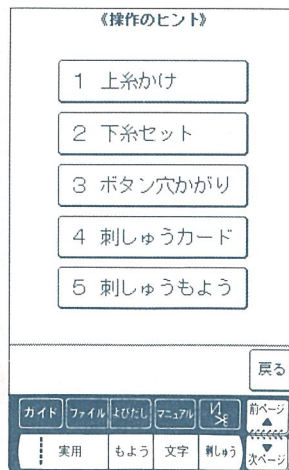
糸調子不良	2画面	布を送らない	1画面
針が折れる	3画面	ぬい目にしわができる	1画面
糸切れ・ぬい目かとぶ	4画面	糸通しができない	2画面

操作のヒント

1 操作のヒント キーを押します。



2 例：ボタン穴かがり を押すと……



●操作のヒントの説明表示の画面枚数

上糸かけ	3画面	ボタン穴かがり	2画面	刺しゅうもよう	2画面
下糸セット	2画面	刺しゅうカード	1画面		

実用ぬい模様の選び方

1 実用 キーを押します。



* 実用ぬい模様は3画面あります。

* キーを押ただけで、縫製に多く使う左基線の直線ぬいが自動的に選ばれ表示されます。

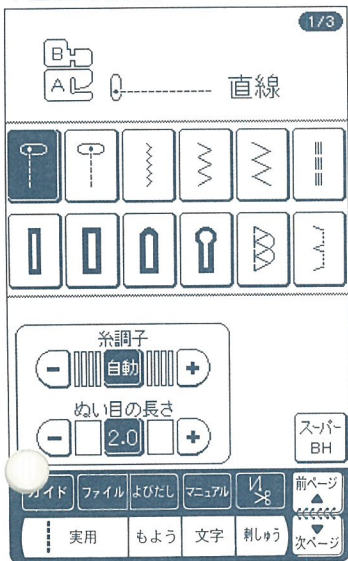
* お好みの模様を選ぶときは、その模様の上を押してください。すると…

例： は に反転され、そして画面（模様群の上）に選んだ模様と使う押え（記号）が表示されます。

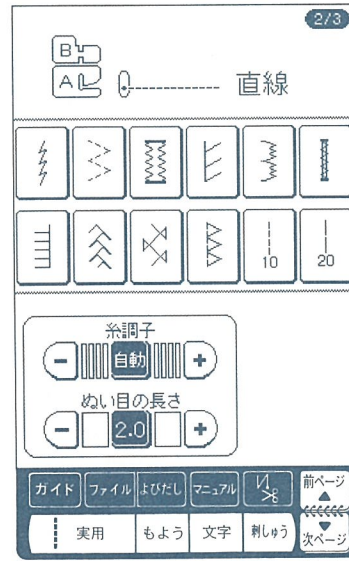
* 画面にふれても実用画面が表示されます。

次の画面を見るときは キーを、前の画面を見るときは キーを押してください。

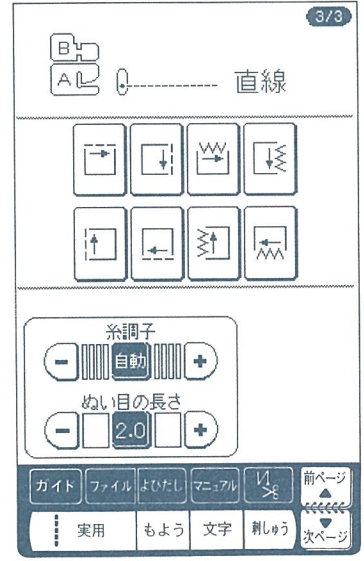
1 番目の画面



2 番目の画面



3 番目の画面



* 糸調子とぬい目の長さを変更したいときは、16と17ページをご覧ください。

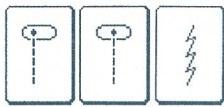
● 実用模様の主な用途

												<p>※ </p> <p>※ </p> <p>は横送りジグザグです。</p>
左基線	中基線	(小)	(中)	(大)	伸縮地用	裁ち目かがり	伸縮地用	ポンプスかがり	伸縮地用	まつりぬい	かん止め	
直線ぬい	ジグザグぬい	カガリ	伸縮強化ぬい		伸縮地用	裁ち目かがり	伸縮地用	ポンプスかがり	伸縮地用	まつりぬい	かん止め	
小	大	ねむり	ハ7目	裁ち目かがり	アップリケ	パッチワーク	裁ち目かがり	ネハローシ	しつけぬい			
ボタン穴かがり												

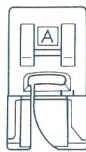
でき上ったズボンや袖の筒ぬいに使うと便利です。

直線ぬい

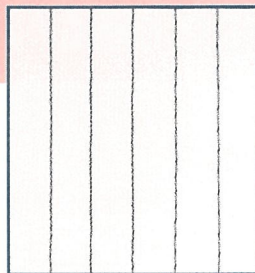
選ぶ模様



使う押え



基本押え(A)



直線ぬいはぬいの基本です。
布地に適した針と糸を選びましょう。

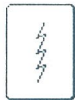
注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。



: 左基線の直線模様です。
実用キーを押すと自動的に選ばれます。

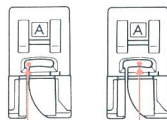


: 中基線の直線模様です。



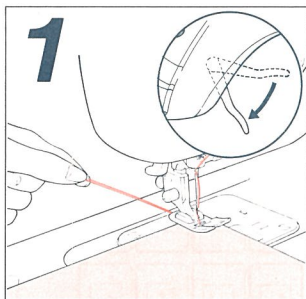
: 伸縮地用の直線模様です。

針の落ちる位置



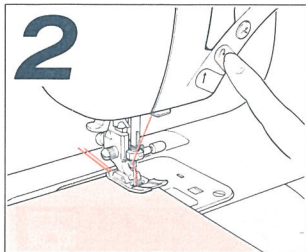
左基線

中基線



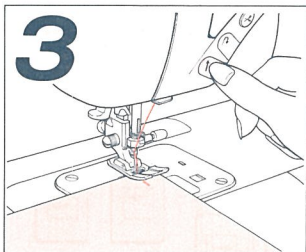
1 返しぬいの方だけ後ろへ布地を入れて押えをさげます。

布地を押えの下におき、ぬい始める位置に針をおとします。
上・下糸をそろえて押えをさげます。

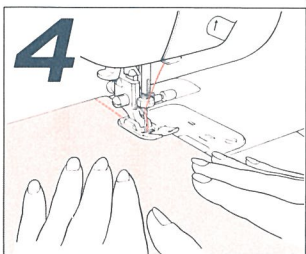


2 返しぬいスイッチを押します。

押している間だけ返しぬいをします。

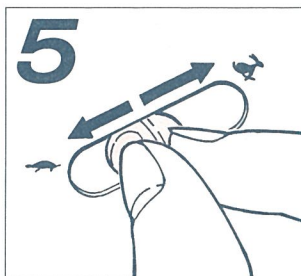


3 スタートさせます。



4 布地に軽く手をそえます。

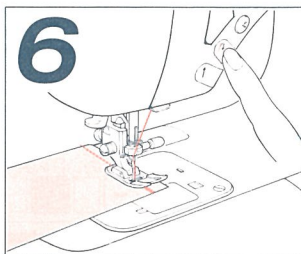
ぬっている間は布地をむりに引っぱらないようにします。



5

ぬい速度を調節します。

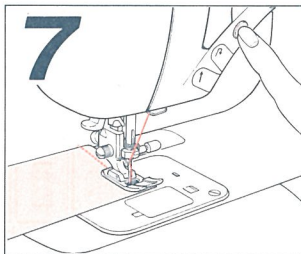
上にあげるとはやくなります。
下にさげるとおそくなります。



6

返しぬいスイッチを押します。

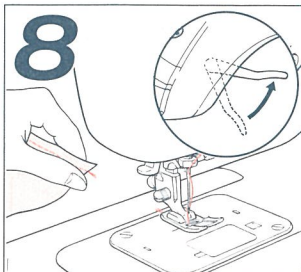
※返しぬいをしない場合はスタート・ストップスイッチを再度押してストップさせます。



7

糸を切ります。

糸切りスイッチを押します。



8

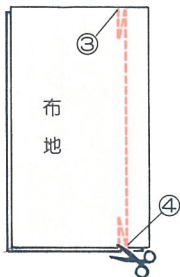
押えをあげて布地をとり出します。

針が完全に止まってから、押え上げレバーを上にあげます。
上・下糸が同時に切れて、布地がとり出せます。

自動止めぬい

ぬう模様を選んでから **U/X** キーを押します。
ぬい始め、ぬい終りに3針の返しぬい（止めぬい）をして、最後に上、下糸の糸切りをして止まります。

例：直線ぬい



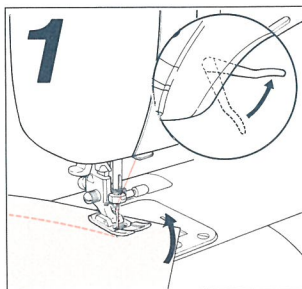
自動止めぬいを解除するには3通りの方法があります。

- (1) もう一度 **U/X** キーを押します。
- (2) 他の模様を選びます。
- (3) 電源を入れ直します。

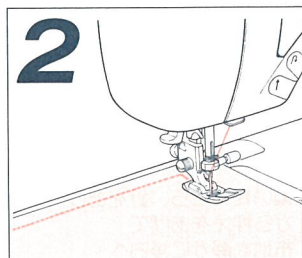


液晶画面に説明があります。

ぬい方向を変えるには



所定の位置でストップさせて押えをあげ、針を軸にして布地を回し、ぬい方向に正しくセットします。

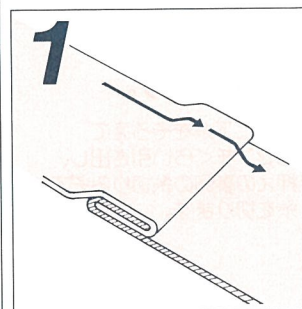


押えをさげてぬい始めます。

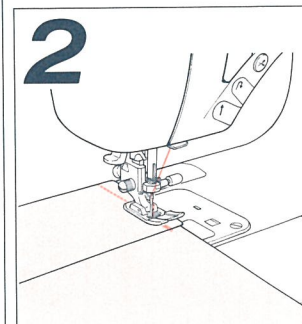


液晶画面に説明があります。

ぬいしろの重なっている部分のぬい方



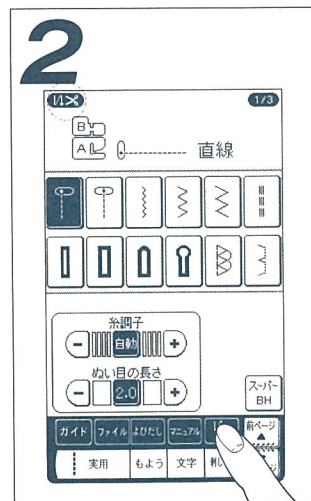
ぬいしろの重なりや、極端に厚みに差ができているところは、ぬいしろを倒した方向にぬいます。



手で少しずつ布の送りを助けながらぬっていきます。

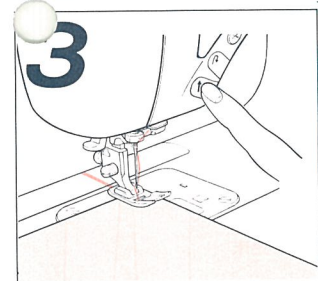
※薄地のぬい始めは上・下糸を進む方向に軽くひっぱりながらゆっくりとぬいます。

1 模様を選びます。



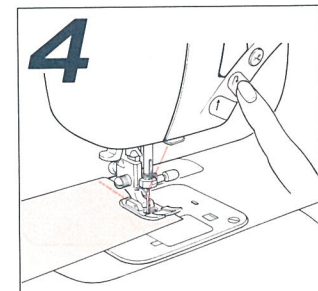
U/X キーを押します。

液晶画面の左上に **U/X** が表示されます。



布地をぬい始める位置に入れ、スタートさせます。

3針の返しぬいをして、ぬい進みます。



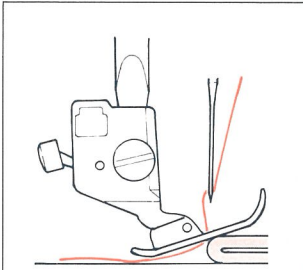
返しぬいスイッチを押します。

所定の位置で返しぬいスイッチを押します。3針の返しぬいをして、所定の位置で自動的に止まり、上・下糸の糸切りをします。

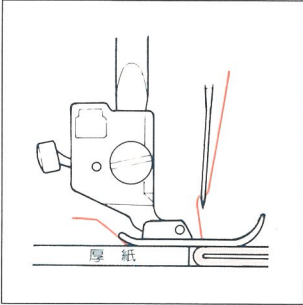


液晶画面に説明があります。

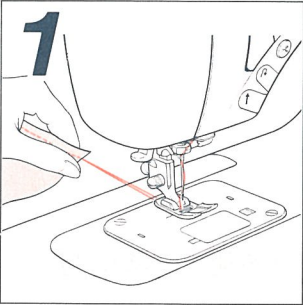
厚地のぬい始め



ぬいしろが重なった布端よりぬう場合は、布端と同じ厚さの厚紙や布を押えの下におりこみますとスムーズにぬうことができます。

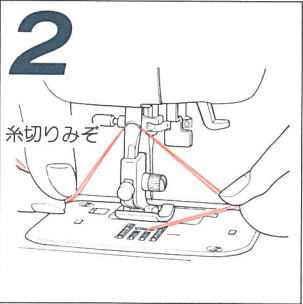


糸切りみぞの使い方



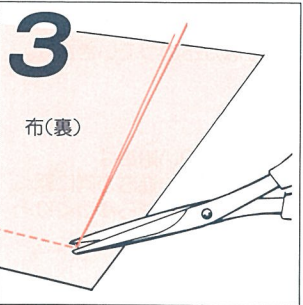
1 布地をとり出します。

ぬい終わったら、針をあげてから押えをあげて布地を静かに後ろへ引き出します。



2 糸切りみぞで糸を切ります。

上糸と下糸をそろえて10センチくらい引き出し、押えの裏側の糸切りみぞで糸を切ります。

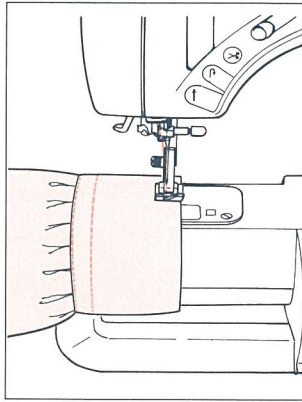


3 布地の裏で糸を結びます。

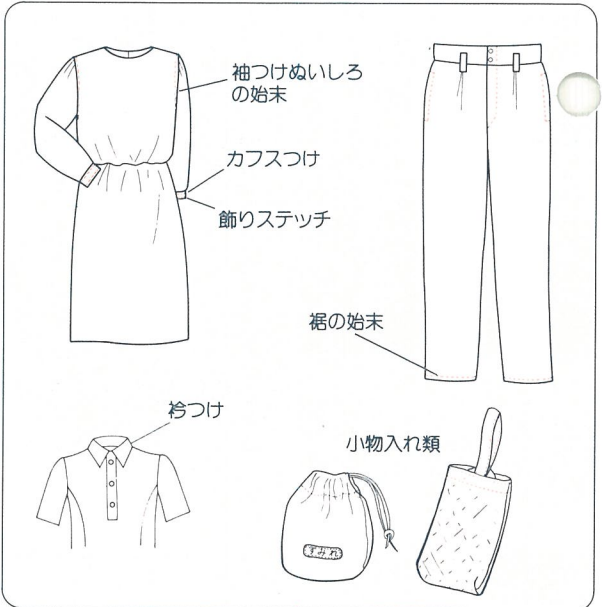
布地の裏側に上糸を引き出し、上糸と下糸を結び、結び目のきわで糸を切ります。

(フリーアーム) 筒ぬい

カフスつけ、ノースリーブの見返しつけ、袖口、ズボンの裾など筒型部分をぬうのに大変便利です。



補助ベッドを左側へ引いて、はずします。



袖つけぬいしろの始末

カフスつけ

飾りステッチ

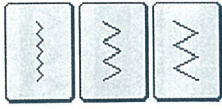
裾の始末

衿つけ

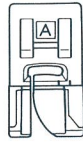
小物入れ類

ジグザグぬい

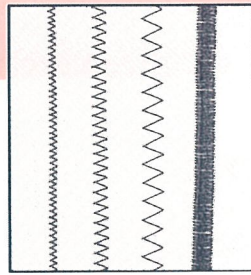
選ぶ模様



使う押え



基本押え(A)



注意 押えの交換のときは電源スイッチを切ってください。

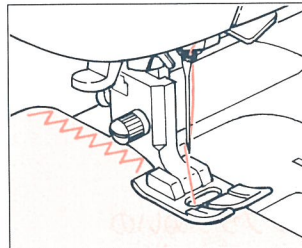
●ジグザグ模様の自動

模様	(小)	(中)	(大)
振り幅	2	3	5
ぬい目の長さ	自動 1.0	自動 1.5	自動 2.0
手動の範囲	0.2 ~ 4.0	0.2 ~ 4.0	0.2 ~ 4.0

自動のぬい目は：模様を選んだままです。

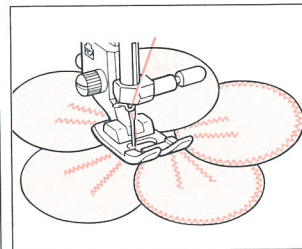
手動のぬい目は：画面中のぬい目の長さで選びます。

●ぬい目の長さを大きくするには **+** を ●ぬい目の長さを小さくするには **-** を



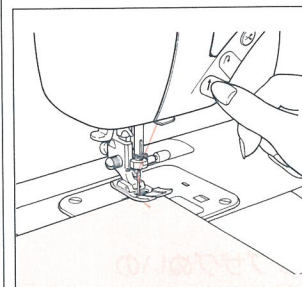
裁ち目がかりの場合

針は布端ぎりぎりのところへおとします。



アップリケの場合

- カーブをぬうときはジグザグ模様(小)か(中)を選びぬい目を細かくします。
- 針をアップリケ布の端より少し外側へおとします。



自動止めぬい

ぬう模様を選んでから

1/8 キーを押します。

布地をぬい始める位置に入れ、スタートさせます。

3針の止めぬいをしてからぬい進みます。所定の位置で返しぬいスイッチを押します。3針の止めぬいをして、所定の位置で自動的に止まり、上・下糸の糸切りをします。

